夢を叶える 自分を磨く

先輩から見た松山短期大学

稲田　眞奈美　愛媛県立松山中央高等学校出身　卒業生(H29年3月卒業)

私は松山短期大学から松山大学経営学部に編入しました。現役の大学受験の時、希望する大学に合格することができず塾の先生のすすめもあり松山短期大学への入学を決めました。短大は比較的50人程度の講義が多く、他大学に比べ集中して講義を受けることができ学生と教授との距離も近いため分からないことも聞きやすいです。

私は、将来イベントや放送の仕事に就きたいと考えていて、イベントや放送関係のアルバイトをしています。そんな私にとって昼間はアルバイトで将来のための知識や経験を積むことができ、夜間は講義を受けることができる環境はメリットでした。

編入学の際は、指導熱心な教授陣をはじめ、親切な事務員の方々の手厚いサポートのおかげで編入学試験に合格することができました。「編入学」という同じ目標を持った仲間たちと編入の情報を共有することもできます。また、サマーキャンプや熱田津祭など仲間と楽しむことができる行事やサークル活動も充実しています。松山短期大学では、単位互換制度を利用し松山大学の講義を受けることもできます。私は、この制度のおかげで編入後も4年制大学で充実したキャンパスライフを過ごすことができています。

松山短期大学でのキャンパスライフは私にとって将来につながる有意義な時間となりました。

本宮　広夢　愛媛県立今治南高等学校出身　卒業生(H29年3月卒業)

私は4年制大学の受験に失敗し、進路について思い悩んでいた時に、短大から4年制大学の3年次に編入学ができる制度があることを知り、編入学の実績が高い松山短期大学への入学を決意しました。

入学当初は受験の失敗から編入学ができるチャンスが本当にあるのか疑心暗鬼でしたが、自ら積極的に授業に参加し課題に取り組むことで、短大には多様な「学び」と「気付き」の機会があることを発見しました。短大では開講科目の中から自分の興味・関心がある科目を履修できます。また、単位互換協定校の開講科目も受講することができるので、幅広い教養を得ることができます。

私は松山大学との単位互換制度を利用して、2年次に海外語学研修講座を履修しました。夏季休暇中にカナダで1か月間の英語研修を受講し英語で意思疎通できる楽しさを実感でき、異文化への理解も深まり、自分自身の自信にもつながりました。

編入学を実現するには、様々な誘惑に打ち勝つ精神力、目標を維持する忍耐力、そして勉強にかける努力が必要ですが、短大には「編入学」という同じ目標を持つ同志が集まっています。私はその仲間たちと切磋琢磨することで諦めずに突き進み、京都産業大学に編入することができました。現在、充実した学生生活を送っています。

大木　康平　愛媛県立松山商業高等学校出身　在学生(H28年4月入学)

私は希望していた大学に合格することができず、「編入」という形で4年制大学へ進学できる松山短期大学への入学を決意しました。

松山短期大学は夜の講義で1日に2コマしかありません。そのため昼間は多くの時間を確保でき、有意義に過ごすことができます。

私は現在昼間に松山大学で単位互換制度を利用し、受講しています。この制度を利用することで、本学の授業で足りない知識を補うことができます。また、松山大学に編入した場合は単位認定されます。

この制度は昨年まで成績条件を満たした2年次生しか受講できませんでしたが、今年から1年次生も年間15単位まで受講できるようになりました。受講料も無料ですのでお勧めです。

一方、松山短期大学の授業は比較的少人数で行われるので集中して取り組むことができます。また、商科大学らしい専門知識を身につけることができます。その他、勉学以外にも、新入生歓迎行事やサマーキャンプ、大学祭バザーなどのイベント、またサークル活動もあり、たくさんの友人や思い出も作ることができます。

優しい指導教授や親身になって学生のことを考えてくれる事務員さんもいて、とても充実した学生生活を送ることができると思います。

たくさんの新入生が松山短期大学に入学してくるのを心から楽しみにしています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

「専門的な観点」及び「良い社会人の育成の観点」本学は、建学の精神である「真実・実用・忠実」の校訓「三実」に基づき、商業経済の実際的な専門職業に重きを置く大学教育を施し、実社会において有為の人材養成を目指しています。
この教育活動を通して「知識・理解」「思考・判断」「技能・表現」の観点から十分な評価を得られるに足る素質を持った人材、そして、良い社会人として本学を卒業していくことができる素質を持った人材を求めます。
そのために、本学では2年間の教育指導を行うにあたり、具体的には、次のような人物を求めています。

(1)短期大学で学ぶにあたり必要となる基礎的な学力とコミュニケーション能力を有している者。
(2)明確な目的意識を持ち、チャレンジ精神を発揮して自己の目標の実現のために努力する者。
(3)知的好奇心に富み、得た知識を仕事に活かして良い社会人として社会に貢献したいとの意欲を有する者。

■松山短期大学データ (2017年5月1日現在)

授与学位／短期大学士(商学)
学生数／232名(男子157名、女子75名)
専任教員数／11名

■2017年度入試結果 ※(内数)は女子の数

入試制度	志願者	受験者	合格者	競争率	入学者
一般	133(44)	127(43)	101(35)	1.26	80(25)
指定校推薦	2(0)	2(0)	2(0)	1.00	2(0)
一般公募推薦	31(14)	22(8)	20(8)	1.10	17(7)
社会人推薦	1(0)	1(0)	1(0)	1.00	1(0)
計	167(58)	152(51)	124(43)	1.23	100(32)

4年制大学への編入学について

近年は国公立大学をはじめとしてほとんどの私立大学で短大からの一般編入学試験制度が設けられています。
また、指定校推薦についても松山大学の19名(2017年度現在)をはじめ、例年10数校の大学から数十名の募集があります。
本学においても例年3、4割の学生が編入を希望し進学しています(2017年度合格者は右記参照)。

単位互換制度

単位互換制度とは協定校である他大学の開講科目を30単位まで履修できる制度です。
併設の松山大学の開講科目については無料で履修できます。ただし、単位修得しても卒業所要単位数には含まれません。
なお、放送大学、松山東雲女子・短期大学の開講科目は有料となりますが、単位修得すれば、それらの科目は本学において、卒業所要単位数に含まれます。

■2017(平成29)年度編入学試験結果

大学名	学部	学科	制度	合格者数
松山大学	経済	経済	指定校	8
			一般公募	3
	経営	経営	指定校	5
			一般公募	1
	人文	社会	指定校	2
	法	法	指定校	3
			一般公募	1
愛媛大学	法文	人文(夜間主コース)	公募	1
	農	生物資源	公募	1
聖カタリナ大学	人間健康福祉	人間社会	一般	1
四国学院大学	社会	カルチュラル・マネジメント	一般公募	1
京都産業大学	経済	経済	指定校	1
	経営	会計ファイナンス	指定校	1
	法	法政策	指定校	1
大阪経済大学	経営	第2経営	一般	1
九州産業大学	経済	夜間主コース	一般公募	1
総計				32

主な就職先について(2016年度卒業生)

(株)愛亀、(株)NTTマーケティング・アクト、オオノ開發(株)、大森商機(株)、キスケ(株)、興陽商事(株)、四国乳業(株)、(株)世起、(株)セブン-イレブン・ジャパン、大和冷機工業(株)、(株)つるや、(株)ドン・キホーテ、ニッシングルメビーフ(株)、松山生協、三原産業(株)、(株)レデイ薬局、陸上自衛隊、航空自衛隊、兵庫県警察、愛媛県警察　他

松山短期大学
〒790-8578 松山市文京町4番地2
TEL(089)925-7111　FAX(089)926-7324
松山短期大学インターネットホームページアドレス
https://www.matsuyama-u.ac.jp/juniorcollege/

松山短期大学　商科第2部

2018(平成30)年度　入学案内

未来への飛躍

社会に開かれた大学、夜間短期大学

有意義な学生生活を

松山短期大学学長　上杉　志朗

松山短期大学の沿革は、1923年設立の財団法人松山高等商業学校、後の松山経済専門学校の流れを汲んだ学校法人松山商科大学が、1952年松山商科大学短期大学部商科第三部を設立したことにさかのぼれます。1989年に学校法人松山大学に改称された時にそれぞれ松山大学、松山短期大学と改称され、松山大学の敷地内に付設されています。そのため、短大生は松山大学の中四国有数の蔵書数を誇る図書館や、できたばかりの樋又キャンパスなどの設備をすべて利用できます。短大では現役の弁護士や公認会計士、税理士など実務家の教授陣に加え、松山大学の教授陣が担当する講義を受講できます。さらに、条件を満たせば短大生は松山大学の授業を無料で受講することもできます。職業人としての実学教育を受け就職に備えるほか、4年制大学への編入を目指して勉強に励む学生も多く、様々な学習のニーズに応える学び舎です。
私たちと一緒に学んでみませんか。

松山短期大学は松山大学に併設の短期大学です

夜間に集中して学びます
（平日18時から21時10分）

https://www.matsuyama-u.ac.jp/juniorcollege/

実務家教員などによる実践教育をリアルタイムで！

本学では、大手企業の要職経験者、現役の弁護士・公認会計士・税理士など、実務家教員が多く在籍しています。それらの講義ではその豊富な知識、経験に基づく、生の声による実践教育を受けることができます。変化の大きい現代社会の中で、きっとあなたに役立つ知識が得られるはずです。めざすのは現代社会に対応できる即戦力の社会人です。

一般教育科目
幅広いジャンルをバランス良く、学べます。

専門教育科目
社会が求めるスペシャリストを養成。

授業は平日午後6時より9時10分までの2時限、90分授業で行います。授業科目は共通教育・言語文化・健康文化・基礎教育・専門教育関係など100を超える科目があります（右の授業科目参照）。経済・経営・法律から英会話・パソコン・体育・デザインまで幅広い科目の中から選択し、学ぶことになります。
また、1年次に必修科目として「一般基礎演習」を導入し、10名前後のゼミナール形式の少人数教育を行っています。コミュニケーション力などの育成を行い、社会人としての基礎力を身につけることに重点を置いています。

中四国屈指、自慢の図書館

蔵書冊数約96万冊。ゆったりスペースでじっくり読書を。

本学図書館の蔵書冊数は約96万冊を有し、中四国の私立大学で最大です。
学内外から図書館ホームページにアクセスすることで簡単に蔵書検索ができます。
館内には専門書や一般教養書、入門書、ベストセラー、資格・試験コーナー、新聞・雑誌などに加え、グループ学習室や視聴覚ブース、マイクロ資料室などの多彩なコーナーを設けています。
開館時間は午前9時から午後10時まで、学生にとってレポート・論文作成、試験勉強に必要不可欠な場所となっています。

Enjoy Campus Life

松山大学と施設は共有です。
同じ環境の下でキャンパスライフを送ります。

松山短期大学 学費・年額

区　分	第1年度（入学年度）	第2年度
入学金	90,000円	−
授業料	330,000円	330,000円
教育充実費	90,000円	90,000円
合　計	510,000円	420,000円

※金額は2017年度実績です。上記の他に委託徴収分として20,000円程度が必要です。
※在学中に授業料・教育充実費の改訂を行った場合は、改訂後の授業料・教育充実費を適用します。

授業科目（2017年度）

共通教育科目

	1年次	2年次
人文科学関係科目	哲学Ⅰ・Ⅱ　文学Ⅰ・Ⅱ　文章表現Ⅰ・Ⅱ	
社会科学関係科目	法学Ⅰ・Ⅱ　社会学Ⅰ・Ⅱ　歴史Ⅰ・Ⅱ　愛媛県史Ⅰ・Ⅱ	
自然科学関係科目	心理学Ⅰ・Ⅱ　自然科学概論Ⅰ・Ⅱ　環境科学Ⅰ・Ⅱ	
総合関係科目	ITスキルズⅠ・Ⅱ　デザイン論演習Ⅰ・Ⅱ　プレゼンテーション論Ⅰ・Ⅱ　共通教育特殊講義	

言語文化科目
英語1　英語2　英語3　英語4　英会話1　英会話2　英語5　英語6

健康文化科目
生涯スポーツⅠ・Ⅱ

基礎教育科目
一般基礎演習

専門教育科目

	1年次	2年次
専門基礎科目	商学Ⅰ・Ⅱ　経営学総論Ⅰ・Ⅱ　簿記原理Ⅰ・Ⅱ　会計学通論Ⅰ・Ⅱ　情報処理論Ⅰ・Ⅱ　経済学（近代経済学入門）Ⅰ・Ⅱ	
経営学関係科目	中小企業論Ⅰ・Ⅱ　経営管理論Ⅰ・Ⅱ	貿易実務Ⅰ・Ⅱ　工業会計論Ⅰ・Ⅱ　経営分析論Ⅰ・Ⅱ　保険論Ⅰ・Ⅱ　税務会計論Ⅰ・Ⅱ　情報システム論Ⅰ・Ⅱ　食品マーケティング論Ⅰ・Ⅱ
経済学関係科目	経済史Ⅰ・Ⅱ　社会経済学入門　社会経済学　金融論Ⅰ・Ⅱ　地域経済論Ⅰ・Ⅱ	統計学総論Ⅰ・Ⅱ　国際経済論Ⅰ・Ⅱ　現代日本経済論Ⅰ・Ⅱ　企業と経済Ⅰ・Ⅱ　仕事と暮らしの経済学Ⅰ・Ⅱ　不動産の法と経済Ⅰ・Ⅱ　財政学Ⅰ・Ⅱ　マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ
法律学関係科目	憲法Ⅰ・Ⅱ　民法総則　民法物権　政治学原論Ⅰ・Ⅱ	民法債権Ⅰ・Ⅱ　家族法Ⅰ・Ⅱ　会社法Ⅰ・Ⅱ　行政法Ⅰ・Ⅱ

御幸キャンパス

御幸キャンパス・トレーニングルーム

御幸キャンパス・プール

カルフール

第一体育館

樋又キャンパス

ソーシャル・コモンズ

キャリアセンター

レストラン「ルルバ」

カフェ「フィウ」